

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県下呂市 下呂市立金山病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透視	救へ輪
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
33,232	6,954	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透視 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

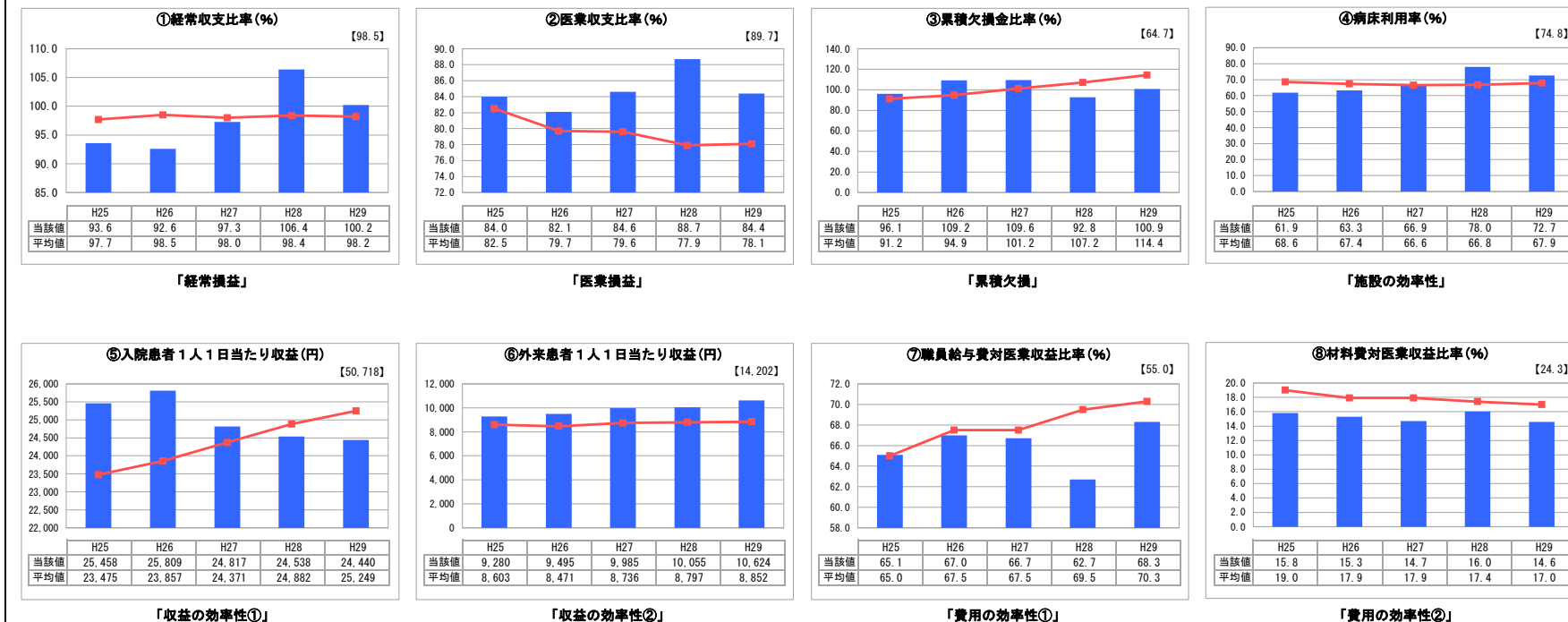
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
50	49	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	99
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
49	36	85

グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## I 地域において担っている役割

南飛騨地域の中核病院である下呂温泉病院より30km南に位置し、この地域における医療提供体制を整え、誰もが安心・安全に暮らせる拠点として機能している。

## II 分析欄

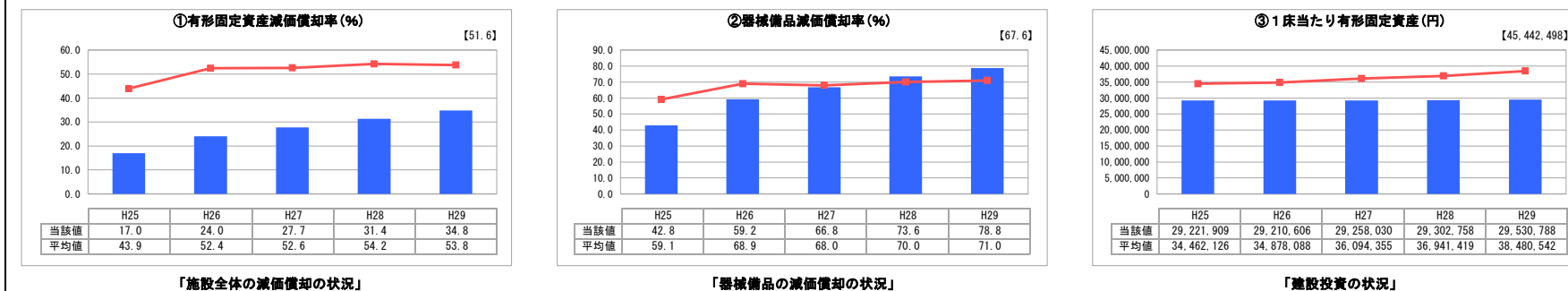
### 1. 経営の健全性・効率性について

平成29年度は入院患者の減や手術件数の減などにより収益が伸びなかったが、経費の削減もあり経常収支比率100%を維持することができた。入院収益の減については、診療報酬改定を見据え療養病床の入院基本料を2から1に変更したことにより、医療区分の低い患者が入院できなくなったためであり、病床利用率の低迷に繋がっていることから、地域連携等を活発に行い病床利用率の改善を図る必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

建物については平成24年に新築し5年ほど経過している。医療機器等については、旧病院から引き継いで使用していることから、経年劣化等による更新が必要となってきている。このことから、医療機器購入に当たっては、支出バランスを踏まえながら計画的な更新を行っている。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

病床利用率が低下し入院患者数減に伴う収入減となったが、材料費や経費も減となったことに加え経営健全化に取組みコストを抑えたことにより、経常収支比率・医業収支比率が類似病院平均を上回ることができたが、入院患者1人1日当たりの収益は平均を下回っていることから、収益改善の余地が残っている。そのため、病床機能の見直しを図り、地域包括ケア病床への転換も含めて検討する。また、建物も新しいが医療機器は耐用年数を超えているものが多いため、計画的・効率的な更新を行う必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。